

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	職員研修に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	2	
政策	41計画の実現のために	担当課室	総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画の見直しとその計画の実施を行う。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画の見直しとその計画の実施を行う。
②①に基づく取り組み結果	人材育成基本方針に基づき、研修計画を見直すとともに、令和元年度においては、手話についての理解を深め、障がい者の立場に立った接遇を学ぶため「手話研修」を新設した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全職員	意図(対象をどうするのか)	求められる職員像に必要な能力を職員が身につけている
②事務事業の概要	人材育成基本方針に基づき、人材育成のため全職員に対して、それぞれに求められる各種研修を実施し、職員の能力開発を実現する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	各公共団体の独自性が求められる昨今においては、市民のために動ける職員、より高い目標を達成する自律型職員、組織力を活かせる職員が求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	①令和2年度研修計画の策定 ②階層別研修・実務研修の実施 ③派遣研修・自主研修の実施					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i 職員数(二役、教育長を除く)	711	722	733	人	鎌ヶ谷市職員配置録
	ii 研修受講人数	1234	1419	1301	人	鎌ヶ谷市職員研修概要
	iii 研修受講人数/職員数	174	197	177%	%	業務取得
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	2,982	2,651	金額(千円)	内容	3,603	
	国支出金(千円)		754	階層別研修		
	県支出金(千円)		191	実務研修		
	市債その他(千円)		1,675	派遣研修		
	一般財源(千円)	2,982	2,651	32	自主研修	3,603

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	改定した人材育成基本方針に基づいた研修計画の見直しとその計画を実施していく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	人材育成基本方針に基づき職員が必要な能力を身につけるため、研修・能力開発を実施する必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由			流用・充当		
	令和2年度への繰越額(単位:千円)				

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	基幹系ネットワークリプレイス事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	10	○
政策	41計画の実現のために	担当課室	総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	川島 隆			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	なし	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	基幹系ネットワーク機器等に関する通信の負荷や経年劣化を考慮し、必要に応じて末端のハブや、ケーブル交換等を行う。
②①に基づく取り組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	基幹系ネットワーク機器	意図(対象をどうするのか)	ネットワークの安定稼働
②事務事業の概要	基幹系ネットワーク機器及びケーブルをリプレイスする			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	本市において、基幹系ネットワークは物理的に分離することを前提としているが、今後は論理分離や無線、モバイル等も考慮していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	基幹系ネットワーク機器及び配線をリプレイスし、経年劣化によるネットワーク切断等のリスクを低減できた。				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 稼働率			99.9%	計画停止を除く停止時間を8時間以内(1開庁日程度)に留める
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	0	1,596	金額(千円)	内容	9,578
国支出金(千円)			1,596	使用料	
県支出金(千円)					
市債その他(千円)					
一般財源(千円)	0	1,596			9,578

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	基幹系ネットワークの端末へ接続するための末端ケーブルは経年劣化しているものがあるため、状況に応じて個別に対処する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	経年劣化によるネットワーク切断等のリスクを低減できたため、有効性は高い。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	リプレイス完了	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	リプレイス完了	3,304	3,304	当初	3,304	1,596	H30からの繰越	
				H30⇒R1繰越	0		現年分	1,596
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)						

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	総合基本計画策定事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	8	○
政策	41計画の実現のために	担当課室	企画財政課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	小笠原 直樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	次期基本構想を策定するため、事業者や団体との意見交換及び審議会への諮問、答申を経て、市議会の議決を得る。また、次期基本構想を踏まえ、庁内検討を進め、次期基本計画(案)を策定する。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	次期基本計画について、計画(案)を策定後、総合基本計画審議会への諮問、市議会への意見照会、パブリックコメント、市民グループとのヒアリング等を踏まえて、策定する。
②①に基づく取り組み結果	次期基本構想は、総合基本計画審議会からの答申や市民の意見等を踏まえ、市議会12月会議に上程し、可決された。また、次期基本計画は、策定要領を作成した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、事業者、団体	意図(対象をどうするのか)	市と共同でまちづくりを進める
②事務事業の概要	現行の総合基本計画が、令和2年度で終了することを受け、令和3年度から令和14年度までを計画期間とする総合基本計画を新たに策定するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	次期基本構想で掲げる都市像「人と緑と産業が調和し 未来へひろがる 鎌ヶ谷」を目指した基本計画を策定する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	次期基本構想を市議会12月会議に上程し、可決された。また、次期基本計画は、策定要領を作成し、令和2年度から全庁的に検討するための準備を行った。						
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠	
	i 基本構想の策定	0	0	1	-	業務取得	
	ii 基本計画の策定	0	0	0	冊	業務取得	
	iii 総合基本計画基礎調査報告書の策定	0	1	0	冊	業務取得	
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳			令和2年度予算	
事業費(千円)	9,890	181	金額(千円)	内容			13,047
国支出金(千円)			177	総合基本計画審議会委員報酬			
県支出金(千円)			4	総合基本計画審議会開催に伴う需用費			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	9,890	181					13,047

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	人口減少、少子高齢化対策など今後解決すべき課題を踏まえ、基本計画を策定する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	庁内の検討、市民等との意見交換、審議会への諮問・答申、市議会への意見照会を踏まえ、次期基本計画を策定していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	総合基本計画策定業務委託等	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	基本構想の策定	1,050	1,070	当初	13,744	181	H30からの繰越	0
				H30⇒R1繰越	20		現年分	181
③達成状況	完了			補正	-12,694			
④未完了・非着手の理由	-			流用・充当	0			
				令和2年度への繰越額(単位:千円)		20		

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	旧第二学校給食センター他建物解体事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	解体工事及び排水整備工事完了後の家屋事後調査について、意向調査を行い進める。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	なし
②①に基づく取り組み結果	家屋事後調査について、意向調査を行い、家屋調査を実施した箇所の物件補償に関して交渉が完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	旧第二学校給食センター他	意図(対象をどうするのか)	既存施設の解体を行う。
②事務事業の概要	旧第二学校給食センター及び旧トレーニングセンターの跡地について、浸水対策として、排水路を整備する為、建物を解体する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市街地で周辺住宅が近接していることから、振動、騒音、粉じんなどの影響を最小限に抑え工事を行う必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	周辺住民へ騒音や振動などを配慮しながら工事を完了させた。					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	改修割合	31	92	100%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	109,507	6,454	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)			4,101	調査設計費		
県支出金(千円)			97	工事関係費		
市債その他(千円)	98,200	5,500	2,256	補償費		
一般財源(千円)	11,307	954				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	解体工事後の家屋の事後調査を行い、物件補償について地権者と交渉する。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	解体後の事後調査と物件補償について完了したため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	解体工事後の家屋事後調査を実施し、損害補償を行う。	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	家屋事後調査を実施し、物件補償交渉を完了した。	0	13,552	当初	13,455	6,454	H30からの繰越	0
				H30⇒R1繰越	0		現年分	6,454
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	97			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)				0		

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎改修等事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	なし	③令和2年度に取組む改革・改善内容	工事中における騒音や振動など来庁市民に支障とならないよう、関係部署との綿密な調整を図りながら、工事を進めていく。
②①に基づく取組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎(建物)	意図(対象をどうするのか)	空調、非常用発電機の改修により、庁舎を適正な管理を行えるようにする。
②事務事業の概要	市庁舎空調設備、非常用発電設備の老朽化に伴い、改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから、適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	空調設備改修工事については、関係部署と調整を図り、工事発注のための設計書を完成させた。				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 改修割合			3%	業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	0	10,113	金額(千円)	内容	287,784
国支出金(千円)			10,113	調査設計費	
県支出金(千円)					
市債その他(千円)		7,900			251,400
一般財源(千円)		2,213			36,384

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市庁舎の通常業務を行いながら、業務に支障無いように工事を進める必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	関係部署と調整を図った結果、工事が適正に着手できるか確認するため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	改修工事に係る設計業務を実施する	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	空調設備改修工事に係る設計業務を実施した	0	17,630	当初	12,320	12,320	H30からの繰越	0
				H30⇒R1繰越	0		現年分	12,320
③達成状況	未完了			補正	7,667			
④未完了・非着手の理由	非常用発電設備の改修工事に係る設計業務が未完了の為			流用・充当	-2,357			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)					3,725	

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	庁用車更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	なし	③令和2年度に取組む改革・改善内容	使用年数や走行距離だけではなく、修理状況等も勘案しながら更新車両を決定していく必要がある。
②①に基づく取組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁用車	意図(対象をどうするのか)	老朽化した車両の入れ替えにより、効率的で安全な庁用車の管理を行う。
②事務事業の概要	庁用車の老朽化に伴い、使用年数の長いものや修理の多い5台について更新するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	庁用車は日々の業務において重要な移動手段となっていることから、適正な管理を行い、安全に利用できる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	老朽化が進んだ車両について、更新を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	更新台数					5台	業務取得
	i						
	ii						
iii							
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	0	5,384	金額(千円)	内容	6,339		
国支出金(千円)			5,384	庁用車購入費			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		5,384			6,339		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	使用年数や走行距離等を勘案し、的確に更新車両を決定して行く必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	庁用車の更新基準に照らし合わせながら、更新車両が適正か確認するため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	庁用車を5台更新する。	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	庁用車を5台更新できた。	0	5,707	当初	7,046	5,384	H30からの繰越	0
				H30⇒R1繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	5,384
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1,339			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)						0

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	旅券事務に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	3	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	鈴木 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	旅券の申請・交付業務について、職員研修を積極的に行い、事務処理の正確性・迅速性を向上させ、市民がよりスムーズに旅券の申請を行えるようにする。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	より市民が旅券を申請しやすい環境を整えるとともに、多くの申請があった場合も事務処理の正確性を保ち、不正取得などが無いように事例研究を行い、職員の受付・交付スキルを更に向上させる。
②①に基づく取組み結果	国や県の研修に、積極的に職員を参加させ、旅券の専門的な事務処理能力の向上を図り、市民の旅券申請に、滞りなく対応することができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、市内居住者 県内住民登録者	意図(対象をどうするのか)	市役所窓口で旅券の申請、受け取りを行う
②事務事業の概要	鎌ヶ谷市民だけでなく、県内在住者も含め、旅券の申請受理、交付を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	以前は千葉県の窓口まで行っていた旅券の申請を、身近な市役所で行えるようになったので、今後も一定件数の申請が見込める。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	自動証明写真機の設置を行い、市民にとって旅券を申請しやすい環境を作り、前年度よりも多い5,046件の旅券申請があった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	旅券申請件数		2,424	5,046	件	申請数累計
	ii	旅券交付件数		2,087	5,087	件	交付数累計
	iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	29,957	79,952	金額(千円)	内容	67,596		
国支出金(千円)	0	0	6,417	非常勤職員等賃金	0		
県支出金(千円)	2,256	5,997	72,420	収入印紙購入代	2,712		
市債その他(千円)	23,821	57,593			59,582		
一般財源(千円)	3,880	16,362			5,302		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	申請に必要な書類など、分かりやすい案内を行い、市民にとって旅券を申請しやすい環境をつくる。				
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	自動証明写真機の設置など、市民の旅券申請環境は向上しているが、より市民にとって申請しやすい環境を整える必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		H30からの繰越
		H30⇒R1繰越		
③達成状況	0	補正		現年分
		流用・充当		
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)			

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	住民票等コンビニ交付導入事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	3	1	○
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	鈴木 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	無し	③令和2年度に取組む改革・改善内容	システムを正常に稼働させ、コンビニにおける交付を安定的に行い、市民の利便性の向上を図る。
②①に基づく取組み結果	無し		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄(抄)本、戸籍の附票、課税(非課税)証明書	意図(対象をどうするのか)	取得場所及び取得時間の拡充
②事務事業の概要	マイナンバーカード所有者に対して、コンビニ等の各店舗に設置してあるキオスク端末で、住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄(抄)本、戸籍の附票、課税(非課税)証明書のコンビニ交付を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	安定的な運営			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	交付場所・交付時間の大幅な拡大により、市民が証明書が必要になったときに、市役所以外の多くの場所(コンビニ等)で時間外でも取得できるという点で、市民サービスの大幅な向上が実現できた。					
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i	交付件数			346件	J-LIS報告
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	0	17,379	金額(千円)	内容	9,733	
国支出金(千円)			17,379	委託料・使用料		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)		17,379			9,733	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	コンビニ交付にはマイナンバーカードが必要なため、マイナンバーカードの普及率の向上が課題となる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	交付場所・交付時間の大幅な拡大により、市民が証明書が必要になったときに、市役所以外の多くの場所(コンビニ等)で時間外でも取得できるという点で、市民サービスの大幅な向上が実現できたため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	コンビニ交付導入	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	コンビニ交付導入事業完了	19,980	19,980	当初	19,980	17,379	H30からの繰越
				H30⇒R1繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)					

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	教育委員会運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	教育総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	崎田 浩史			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、学校や教育機関との意見交換の機会の場を設ける。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、引き続き学校や教育機関との意見交換の機会の場を設ける。
②①に基づく取組み結果	教育委員会定例会を学校(初富小・鎌ヶ谷中)や学校給食センターを会場として開催するなど、学校現場との意見交換を積極的に行い、教育委員会の活性化を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	教育委員会委員	意図(対象をどうするのか)	人格が高潔で、教育、学術、文化に関する識見を有する者を任命する
②事務事業の概要	定例会を開催し、鎌ヶ谷市の教育方針や教育行政にかかる議決事項を審議し決定している。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	教育委員会の大幅な教育政策の変換期にあることから、他市の動向を把握しながら、新しい教育委員会体制を確立する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	生涯学習の推進、芸術・文化の振興、文化財の保存、スポーツの振興など様々な教育行政に対し、教育委員会委員による多様な民意を反映した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	定例会の回数	12	12	12	回	実施回数
	ii	臨時会の回数	7	10	10	回	実施回数
	iii	議決された案件	40	41	47	件	議決案件数
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳			令和2年度予算	
事業費(千円)	2,345	2,325	金額(千円)		内容	2,358	
国支出金(千円)			2,208		教育委員会委員報酬		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	2,345	2,325				2,358	

IV 評価・検討

①課題	教育に携わる者の意欲や達成感の向上を図り、鎌ヶ谷市の教育行政を推進することが課題である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	鎌ヶ谷市の教育行政の発展のため、的確な情報や学校の課題を引き続き把握する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越	
		H30⇒R1繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和2年度への繰越額(単位:千円)					

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	議会事務局の運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	1	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	議会事務局			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	斉藤 薫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	議員改選及び通年議会導入に伴う一連の事務を円滑に実施する。 また、議会活動等の透明性を確保するため、効果的な事業の展開を図っていく。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	議会運営を円滑に進めるとともに、議会活動等の透明性を確保するため、効果的な事業の展開を図っていく。
②①に基づく取組み結果	議員改選及び通年議会導入に伴う事務が円滑に遂行され、議員改選や定例会が滞りなく行われた。また、政務活動費に係る領収書等のHPでの公開を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、市議会議員	意図(対象をどうするのか)	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行う。
②事務事業の概要	憲法で保障された議決機関である議会な円滑な運営を行うため、その事務を所掌する議会事務局の運営に関する経費。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地方分権の進捗に伴い、議会活動の透明性の確保と内容の周知と併せて、新たな政策提案が求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	適切な事業計画に基づき費用対効果に十分配慮したうえで、遅延することなく事業を実施することができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i 傍聴者数		375	337	556	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	23,913	22,490	金額(千円)	内容	32,387		
国支出金(千円)			4,230	会議録反訳委託			
県支出金(千円)			1,918	議会中継システム			
市債その他(千円)			1,178	だより折込委託			
一般財源(千円)	23,913	22,490	1,124	だより編集印刷委託			

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	地方分権がより一層進む状況の中で、今後とも議会活動等の透明性の確保、内容を広く周知すること及び新たな政策提案を求められている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	より効率的かつ効果的な議会運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越	
		H30⇒R1繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和2年度への繰越額(単位:千円)					